



紅葉した小川の小道

## 芸術の秋を楽しんだ霧一の子ども達

～ミュージカル、コンサート、区音楽会を体験して～

学校長 中島 恵津子

この秋6年生は、桜木町から晩秋の横浜港を見ながら山下公園まで歩き、ミュージカル「魔法を捨てたマジョリン」を鑑賞しました。主人公の魔女の心の変化を通し、人間の優しさ思いやりの大切さを再確認したミュージカルでした。「この世には人を思いやる心があれば、何でもできるんだ。このせりふがずっと残りました。」「ステージのすぐ傍で、出演者の感情までが読みとれました。」「魅力的な内容で登場人物の一人になったかのような感じでもわかるように、それぞれに感動深いものになったようです。本物を観る素晴らしさを体験できました。

4年生は学校代表で区の音楽会に出場しました。毎日心を合わせ練習し、当日はその成果を十分に発揮でき、ホールにステキな歌声が響き渡りました。霧が丘小に向けて夢と希望をもって進むように、そして今まで仲良くしてくれた友だちにありがとうという気持ちから選んだ「船出の朝・あなたにありがとう」の2曲は、担任の指揮と一体となり心に残るすばらしいハーモニーになりました。



5年生は「心の教育ふれあいコンサート」に出かけました。管楽器、弦楽器、打楽器など異なる特徴をもつ多くの楽器がそれぞれの持ち味をいかし、全体としては調和のとれた素晴らしい演奏で、子どもたち一人ひとりの心を揺さぶるコンサートでした。演奏を聴きながら、子ども達は頭をふったり小さく腕を動かしたりリズムをとったりして聴いているのが印象的でした。きっとこれからの音楽活動に生かされるでしょう。

ミュージカル、音楽会、コンサート等どれも、みんなが自分の分担を責任をもって行い、力を合わせたときに感動を与えることができるということを、鑑賞したり実際に歌ったりして感じた素晴らしい体験でした。今月の「霧一ザ・ミュージック」では、1年から6年まで一人ひとりが精一杯出演して、聴いて下さる方々と共に心に残るステージになるよう練習を重ねています。地域の方の出演も予定されています。是非お出かけ下さいましてご声援いただきますようお願いいたします。

いよいよ今年最後の月になりました。心せわしい毎日かと思いますが、皆様お元気でどうぞよいお年をお迎えください。